

## 外国語科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校  
教諭 中川 由佳  
(アドバンスト)

- 1 日時 平成29年10月10日(火) 第2校時
- 2 学年 第2学年2組 アドバンスコース 男子5名 女子10名
- 3 場所 2階英語ルーム
- 4 単元名 Program6 A Work Experience Program
- 5 単元について

### (1) 単元観

本単元は中学生の由紀、武史、桃子が職業体験を通して学んだことをウッド先生に話したり、クラスの中で将来の夢について発表したりする場面が取り上げられており、自分の将来について考えたり、職業観を深めたりするにはたいへん意義のある題材である。また、本校の生徒は9月に職業体験を経験しており、まさに実際に体験し、その内容を身近に感じることができ、そのことについて、書いたり話したりすることができるため、英語によるコミュニケーション能力を育み、英語学習への意欲を高めるのにふさわしい題材である。

本単元の新出言語材料は、不定詞の名詞的用法「～すること」、副詞的用法「～するために」、形容詞的用法「～するための」の3つの用法である。これらの文が使えることにより、自分のしたいことや行動する目的や理由を述べたり、また相手にたずねたりするなど、コミュニケーションの幅が広がることを期待できるとともに、それらを積極的に相手に伝えようとする態度を育成することができる単元である。また、この単元で学習したことを用いて、12月に実施する修学旅行において、浅草で外国人留学生と交流し、さらなる言語理解と今後の英語学習への意欲につなげたい。

### (2) 生徒観

本学年の生徒が1年次に行った事前調査結果より、必要な情報を読み取り、相手に適切に応じる力、意味のつながりを意識してまとまりのある英文を書く力に課題があることが明らかになった。そこで、帯学習として授業の中で、与えられたテーマについてペアで会話する活動や、教科書の本文に関して読み取った情報に関して、他者に新しく質問を考えるなどの指導を継続して行った。その結果、書くこと、話すことへの意欲が高まり、事実を述べるだけではなく、それに対しての自分の考えや感想を付け加えることができるようになり、自分の考えを表現しようとする姿勢に繋がっていると考えられる。

基礎・基本定着状況調査の結果において、タイプⅠは89.6%、タイプⅡは75.4%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な学習内容については概ね定着していると考えられるが、学習した知識・技能を活用して表現する力や、図や表から情報を読み取りそれらを関連させて考える力にはまだまだ課題があることが分かる。

### (3) 指導観

本単元で学習する不定詞の3つの用法は、「to + 動詞の原形」の形を用いるため一般動詞が重要な単語となる。しかし、toの後に名詞を使ったり、動詞の過去形や三単現のsをつけた形を書く事が予想されるため、単元の始めに一般動詞の復習を再度行い、動詞の原形が確実に書けるようにしておく。また、授業の最初にウォームアップとして単語や既習の基本文型を復習する。その後、不定詞の用法に注目させ、生徒の気づきを取り入れながら、文法構造や用法、意味の確認を行なう。

本学年の生徒は、12月に修学旅行で東京に行き、浅草で外国人留学生と交流する機会があるため、実際の使用場面を想定し、初めて会う留学生のことを知り、自分たちのことを知ってもらうために

必要な表現などを生徒に気づかせ、不定詞を使った表現につなげる。ベーシックコースでは、ペアで場面設定をし、その場所へ行った目的などを含んだ簡単な会話の中で、不定詞を使って適切に表現することを目標にスキットを作成する。アドバンスコースでは、ペアで留学生と交流する場面を設定しスキットを作成する。その後、中間報告を行い、気づきを交流し、修学旅行での場面により近づけるため、ALTとの即興でのやりとりを含んだスキットに修正し発表することで、内容のつながりや相手を意識するなど、場面や状況に応じた適切な表現を用いて、自分の考えを表現できるようにする。

## 6 単元の目標

- ① 不定詞の文構造・意味・用法を理解することができる。
- ② 不定詞や既習の言語材料を活用しながら、まとまりのある文章を書き、発表することができる。
- ③ 職場体験についての文章を読み、知っている語句や内容を推察しながら、概要や要点を理解することができる。

## 7 単元の評価規準

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
① 不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。	① 不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。	① まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。	① 不定詞の文構造や意味、用法について理解している。

## 8 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報②主体性③課題発見・解決力④チャレンジ精神⑤自らへの自信の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。
自らへの自信	既習の文法事項を用いながら、場面や状況に応じた適切な表現を用いてスキットを行っている。
チャレンジ精神	自分の考えや思いを積極的に伝え、表現しようとしている。

9 指導と評価の計画（全10時間）

次	時	学習内容	評価				
			関 心	表 現	理 解	知 識	(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
1	1	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">課題の設定</div> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px; margin-left: 10px;">情報の収集</div> A L Tへのインタビューや A L Tとのやりとりを通して、異なる文化を持つ人に伝えたい「こと」や「もの」を考える。	○				・不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。(行動観察)
	2	不定詞(名詞的用法)の文構造・意味・用法を理解し、これらを使って、自分や友人の好きなことや、したいことを紹介する。				○	・不定詞の文構造や意味、用法について理解している。(ワークシート) ★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
	3	Program 6-1 の本文の内容を理解する。				○	・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)
2	4 【本時】	不定詞(副詞的用法)を使って自分や友人の行動の目的や理由を書いたり表現したりする。				○	・不定詞の文構造や意味、用法について理解している。(ワークシート) ★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
	5	Program 6-2 の本文の内容を理解する。				○	・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)
3	6	不定詞(形容詞的用法)を使って身の回りにあるものを紹介する。				○	・不定詞の文構造や意味、用法について理解している。(ワークシート) ★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
	7	Program 6-3 の本文の内容を理解する。				○	・まとまった文章を聞いたり読んだりして概要や要点を理解している。(ワークシート)

4	8	<b>整理・分析</b> 外国人留学生への質問や紹介したいものを表現する原稿を作成し練習する。	○	・不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。 ★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
	9	<b>まとめ・創造・表現</b> ・ALTに質問や紹介したいもののプレゼンテーションを行う。 ・相互に評価する	○	・不定詞を適切に使って書いたり話したりすることができる。(行動観察) ★自分の考えや思いを積極的に伝え、表現しようとしている(行動観察)
	10	<b>課題の設定</b> <b>整理・分析</b> 他のペアからのアドバイスを参考にし、即興性を持たせるため、ALTへの質問を含んだ、より交流の場面に近づけたスキットを作成する。	○	・不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。 ★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
	11	<b>まとめ・創造・表現</b> <b>振り返り</b> ・ALTにも加わってもらいスキットを発表する。 ・ALTからの意見や助言を受けて、自己の学習活動の自己評価を行う。	○	・不定詞を用いて、自分やクラスメートの思いや考え等について積極的に書いたり対話したりしている。(行動観察) ★既習の文法事項を用いながら、場面や状況に応じた適切な表現を用いてスキットを行っている(行動観察) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ★「深い学び」を実現した生徒の姿  Excuse me.  May I ask you some questions?  Why did you come to Japan?  ( )  I see. We came here on school trip.  What Japanese food do you like?  ( )  How about you, Daniel?  ( )  ダニエルからの質問  ( )  We were happy to talk you.  Thank you very much. Have a nice trip.  このようなスキットが作成できる。 </div>

## 9 本時の学習

### (1) 本時の目標

副詞的用法の不定詞を使って、自分の考えを英語で表現することができる。

### (2) 観点別評価規準

不定詞の文構造や意味、用法について理解している。(エ①)

(3) 準備物

ワークシート

(4) 学習の展開 (アドバンス)

	学習活動	指導上の留意点 (◇) ◆配慮を要する生徒への支援	(○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入	1 あいさつをする。 2 既習事項の復習をする。 3 本時のねらいを確認する。	◇ICTを使いテンポよく進める。 ◇学習課題のポイントを簡単に説明する。	
	外国人留学生と交流する場面でのスキットを発表することができる。		
展開	4 リスニングを行い、副詞的用法を使った文の構成と意味を確認する。 5 「修学旅行に行って留学生と交流をする」場面で、ペアでスキットを考える。	◇ワークシートを使い場所と目的を聞き取り行動を表す不定詞の用法を確認する。 ◇不定詞が行動の目的を表す「～するために」との意味であることに気づかせる。 ◇そこに行った目的を必ず含む文を書くように指導する。 ◆WORD BOXを手がかりに表現する。	○不定詞の文法構造や意味、用法について理解している。(ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず目的を設定しないといけないね。</li> <li>・会話だから、つながりを考えないといけないよね。</li> <li>・相づちを入れたほうがいいね。</li> <li>・質問したら自分たちも答えたほうがいいね。</li> </ul>		
	6 ペアでスキットを使って対話練習をする。 7 中間発表する。 8 気づきを交流する。 9 スキットの練習(2)をする。 10 スキットを発表する。	◇感情をこめて練習する。 ◇ゴールイメージを共有するために、1組ないしは2組のスキットを見せる。 ◇ワークシートのチェックポイントを参考に意見を交流する。 ◇気づきを発表し全体で共有する。 ◇気づきを生かした発表をする。	★自分の考えや意見を書いたり話したりして自ら発信しようとしている。(ワークシート・発表)
まとめ	11 本時のまとめを確認する。	◇基本文の確認を再度行う。 ◇自己評価カードに記入する。	to 動詞の原形を使えば「～するために」と目的を表せる Why did you come to Tokyo? I came here to study Japanese culture.

(5) 板書計画

本時の 目 標	<外国人留学生と交流する場面でのスキットを完成することができる。>	Thursday, October 13 <sup>th</sup> sunny
	★スキットの注意点	
	不定詞 (to+動詞の原形) ～するために	①内容につながりがあるか ②ジェスチャーや相づちを入れながら会話を行なっているか。
	I went to Sogo Park <u>to play soccer</u> . (私はサッカーをするために総合公園へ行った。)	